FUKUYA

2026年11月18日

各 位

会社名　フクヤ建設株式会社
（コード番号284A　TOKYO PRO Market）
代表者名 代表取締役 福 家 淳 也
問合せ先 業務推進事業部執行役員
兼事業本部長　小池　日出斗
TEL　088-845-4618

（訂正）「2026年8月期　決算短信〔日本基準〕（連結）」の一部訂正について

当社は、2026年10月14日に開示いたしました「2026年8月期　決算短信〔日本基準〕（連結）」の記載内容に一部訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．訂正の理由

添付資料の「１．経営成績等の概況（１）当期の経営成績の概況」及び「３．連結財務諸表及び主な注記（５）連結財務諸表に関する注記事項（セグメント情報）」にのれん及びのれん償却を計上するセグメントについて訂正すべき事項が判明したため、訂正を行うものです。

２．訂正内容（訂正箇所には下線を付しております。）

訂正箇所は以下のとおりです。

添付資料2ページ

（１）当期の経営成績の概況

＜建築工事事業＞

【訂正前】

建築工事事業におきましては、当期にグループインした子会社の業績寄与に加え、民間工事が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。一方、建築資材価格の高騰等に伴う工事原価の上昇により利益率が低下したことから、利益面では前年同期を下回りました。

この結果、当連結会計年度のセグメント売上高は2,488,444千円（前年同期比12.9%増）、セグメント利益は213,694千円（前年同期比14.9%減）となりました。

【訂正後】

建築工事事業におきましては、当期にグループインした子会社の業績寄与に加え、民間工事が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。一方、建築資材価格の高騰等に

伴う工事原価の上昇により利益率が低下したことから、利益面では前年同期を下回りました。

この結果、当連結会計年度のセグメント売上高は2,488,444千円（前年同期比12.9%増）、セグメント利益は204,874千円（前年同期比18.5%減）となりました。

添付資料12ページ

（５）連結財務諸表に関する注記事項

（セグメント情報）

【訂正前】

当連結会計年度（自　2025年９月１日　至　2026年８月31日）

１．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）1	合計	調整額（注）2	連結財務諸表計上額（注）3
	建築工事事業	建材卸売事業	不動産事業	飲食事業	計				
売上高									
一時点で移転される財又はサービス	329,891	363,800	312,137	33,982	1,039,812	12,556	1,052,369	—	1,052,369
一定の期間に渡り移転される財又はサービス	2,158,552	—	—	—	2,158,552	—	2,158,552	—	2,158,552
顧客との契約から生じる収益	2,488,444	363,800	312,137	33,982	3,198,365	12,556	3,210,921	—	3,210,921
その他の収益	—	—	21,367	—	21,367	—	21,367	—	21,367
売上高									
外部顧客への売上高	2,488,444	363,800	333,504	33,982	3,219,732	12,556	3,232,289	—	3,232,289
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	600	2,118	2,718	7,179	9,897	△9,897	—
計	2,488,444	363,800	334,104	36,100	3,222,450	19,735	3,242,186	△9,897	3,232,289
セグメント利益又は損失（△）	213,694	12,809	43,626	△6,350	263,779	6,884	270,664	△283,874	△13,210
セグメント資産	2,082,228	457,546	545,669	190,703	3,276,148	74,805	3,350,954	617,790	3,968,744
その他の項目									
減価償却費	30,182	5,882	4,864	5,832	46,762	3,456	50,218	2,159	52,378
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	136,243	115	—	82,544	218,903	—	218,903	50,323	269,226

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、簡易宿所事業等を含んでおります。

２．調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又は損失（△）の調整額△283,874千円には、セグメント間取引消去392千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△284,266千円が含まれております。

(2)セグメント資産の調整額617,790千円には、セグメント間取引消去△170,960千円、各報

告セグメントに配分していない全社資産788,750千円が含まれております。

(3)減価償却費の調整額2,159千円には、セグメント間消去△392千円、各報告セグメントに配分していない全社減価償却費2,552千円が含まれております。

(4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額50,323千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額であります。

3．セグメント利益又は損失（△）の合計額は、連結財務諸表の営業損失と調整しております。

【訂正後】

当連結会計年度（自　2025年９月１日　至　2026年８月31日）

１．報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他（注）1	合計	調整額（注）2	連結財務諸表計上額（注）3
	建築工事事業	建材卸売事業	不動産事業	飲食事業	計				
売上高									
一時点で移転される財又はサービス	329,891	363,800	312,137	33,982	1,039,812	12,556	1,052,369	—	1,052,369
一定の期間に渡り移転される財又はサービス	2,158,552	—	—	—	2,158,552	—	2,158,552	—	2,158,552
顧客との契約から生じる収益	2,488,444	363,800	312,137	33,982	3,198,365	12,556	3,210,921	—	3,210,921
その他の収益	—	—	21,367	—	21,367	—	21,367	—	21,367
売上高									
外部顧客への売上高	2,488,444	363,800	333,504	33,982	3,219,732	12,556	3,232,289	—	3,232,289
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	600	2,118	2,718	7,179	9,897	△9,897	—
計	2,488,444	363,800	334,104	36,100	3,222,450	19,735	3,242,186	△9,897	3,232,289
セグメント利益又は損失（△）	204,874	12,809	43,626	△6,350	254,960	6,884	261,844	△275,055	△13,210
セグメント資産	2,164,132	457,546	545,669	190,703	3,358,053	74,805	3,432,858	535,885	3,968,744
その他の項目									
減価償却費	30,182	5,882	4,864	5,832	46,762	3,456	50,218	2,159	52,378
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	226,967	115	—	82,544	309,627	—	309,627	50,323	359,950

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、簡易宿所事業等を含んでおります。

２．調整額は以下のとおりであります。

(1)セグメント利益又は損失（△）の調整額△275,055千円には、セグメント間取引消去392千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△275,447千円が含まれております。

(2)セグメント資産の調整額535,885千円には、セグメント間取引消去△170,960千円、各報

告セグメントに配分していない全社資産706,845千円が含まれております。

(3)減価償却費の調整額2,159千円には、セグメント間消去△392千円、各報告セグメントに配分していない全社減価償却費2,552千円が含まれております。

(4)有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額50,323千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産の設備投資額であります。

3．セグメント利益又は損失（△）の合計額は、連結財務諸表の営業損失と調整しております。

以 上